



# 誰のための標準。何処にある標準。 SEPを調べる！

# 開放

### 第1小委員会第1WG 「特許や技術の利活用促進を目的としたオープンプラットフォームに関する研究」

#### 開放特許データベースは特許技術の展示会場

**①DB運営者**  
・盛り上げたい

**②掲載者**  
・自社技術を売りたい  
・パートナーを探したい  
・自社の技術力をPRしたい

**③閲覧者**  
・技術を買いたい  
・パートナーを探したい

**④DBの分析者**  
自社技術戦略に活かすために  
・他社発案発動動向を察知したい  
・成約事例を知りたい

## された特許とは？

### 第4小委員会第1WG 「知財情報人材に求められるスキルと役割に関する研究」

#### ◆知財情報人材とは<定義>

企業知財部の中で自分のおかれている立場・役割を理解し、様々な方法（関係部署、社内システム、その時々最新の技術等）を駆使して、クライアントの判断業務に必要な情報を提供する人材

**<環境要因>**

- ・事業環境の激化
- ・次世代産業の勃興 (IoT, AI, シンチアーツ等)
- ・知財部への期待

**<組織的な要因>**

- ・部門連携
- ・部門方針
- ・人材の配置
- ・分析ツールの導入
- ・外部サービスの活用

**理想像**

↑  
理めるべきキヤップ

**現状**

**<人材スキル要因>**

- ・情報収集能力
- ・分析能力
- ・報告能力
- ・他部門との協働能力
- ・コミュニケーション能力等

# 知財情報人材

### 第2小委員会第1WG 「AI等を活用した特許調査に関する研究」

#### AI等を利用したツールの実力は？

#### 各種機能の使いどころや活用法は？

(例) 無効資料調査における再現率・適合率のツール間比較

ツールや分野による傾向は？

# AIの為の人。人の為のAI。

### 第1小委員会第2WG 「標準必須特許(SEP)の調査・分析に関する研究」

SEPってどうやって調べるの？

非公示のSEPを調べることはできない？

従来のSEP候補を分析することはできない？

新規ビジネス参入時のSEP調査の方法は？

### 第2小委員会第2WG 「AIを用いた業務効率化に関する研究」

#### AIを利用した『ノイズカットツール』による調査業務の効率化に関する研究

学習⇒自動分類

※『ノイズカットツール』  
特許検索で集めた膨大な数の特許群からノイズ特許を除去するツール

- ・どんな調査に適している？
- ・正解率を高めるためには？
- ・最適な教師データは？

### 第4小委員会第2WG 「特許分類に関する研究」

#### ■ZITの国際標準化が決定！(IPC G16Y)

ZITの内容を踏まえて、国際特許分類 (IPC) にIoT関連技術の適切な分類を割り当てることも提案。五月及びWIPOでの議論を経て、IPCのサブクラスG16Yとして2020年1月に発効することが決定。

！しかし、問題点がある？

例えば定義の解釈のばらつきや、過去遡及が約束されていない等。

以下の検討を実施！

- ✓ 分類定義の確認
- ✓ 分類与対象技術の整理
- ✓ 分類を利用した特許検索・分析方法の検討
- ✓ 各特許庁との意見交換

明確な「Internet of things」が登場する出件件数 (推定値)

### 第3小委員会第1&2WG 「IPランドスケープに関する研究」

IPランドスケープの活用を促進する研究

外部から活用しては？

他部門に活用しては？

IP活用を促進して提案資料作り

まずは活用構築を

IPランドスケープの実現

2つのIPランドスケープを仮定して研究を実施。  
1-1(WG-1) 新規特許登録を目的としたIPランドスケープ  
2-2(WG-2) 権利行使を目的としたIPランドスケープ

# 知財の 때가 きた

# 世界に放て IOT 特許分類

# IPランドスケープ

# 情報検索要素